

『新修宗像市史 うみ・やま・かわー地理・自然ー』刊行について

1 概 要

本市では、合併前の各自治体（旧宗像市、玄海町、大島村）でそれぞれ市町村史誌（『宗像市史』、『玄海町誌』、『大島村史』）を刊行していました。合併後市制10周年を機に、①東アジア交流拠点としての再評価、②歴史的価値を有する新たな資産などの評価と発信、③史資料調査等の緊急性の策定の趣旨（「新修宗像市史編さん基本方針」）に基づき、宗像の歴史的・文化的位置を明らかにし、市民の方に郷土に対する愛着心や誇りを育むとともに、今後の魅力あるまちづくりや文化の向上に資するため、平成27年度から新修宗像市史の編さんに取り組んでいます。

新修宗像市史は、通史により編さんされている既刊の各市町村史誌と視点を変えて、新たな発見や最新の研究成果を盛り込んで、テーマ別に編集しています。

2 『新修宗像市史 うみ・やま・かわー地理・自然ー』の販売について

（1）販売日

令和元年5月26日（日曜日）

（2）販売価格

3,000円（税込）（※10月以降についても、3,000円（税込）で販売）

（3）販売場所

- ①海の道むなかた館
- ②宗像ユリックス
- ③宗像市役所（ハートループ）
- ④明屋書店（くりえいと宗像店）
- ⑤福岡金文堂（ゆめタウン宗像店）
- ⑥福岡金文堂（教育大店）
- ⑦未来屋書店（福津店：イオンモール福津内）
- ⑧うどう書店

（4）仕様等

B5版、566ページ（口絵（カラー）＝32ページ）

（上製本／中性紙使用／布クロス／箱入り）

編 集 新修宗像市史編集委員会

発 行 宗像市

（5）内 容

宗像市は、西・南・東を山に囲まれ北は玄界灘に面しており、沖ノ島・大島・地島等の離島があります。こうした土地の事情や様子を意識しながら、宗像に生育する植物や動物をはじめ、気候や地質などを述べています。本巻は4章より構成されており、第1章「宗像の地理」では、宗像の土地全体のありさまや環境、農業・水産業・商業の特徴をまとめています。第2章「宗像の気候・水文」では、宗像の気候と水の循環環境を述べています。第3章「宗像の地形・地質」では、土地の成因や発達の特徴をまとめ、金属鉱床や化石等にも触れています。第4章「宗像の生物」では、市内の動植物について述べており、植物目録や動物の種のリストを載せています。

3 新修宗像市史編さん事業について

(1) 刊行に至った経緯

昭和 54 年に『玄海町誌』、昭和 60 年に『大島村史』、平成 11 年に『宗像市史』を刊行しましたが、『玄海町誌』に至っては刊行から 40 年が経過し、また、合併により市域が拡大しました。

新修宗像市史は、旧市町村史誌の諸研究を基礎にしながら、各学問分野における新たな発見や最新の研究成果等を盛り込み、広域的に地域・市民の視点に立った市史編さんに取り組んでいるところです。

(2) 編さん事業の取り組み

① 本市では、平成 27 年度から新修宗像市史の編さん事業を進めています。これまでに「宗像市史編さん審議会」を立ち上げ、「新修宗像市史編さん基本方針」を策定し、その後、編さん事業を円滑に進めるために「新修宗像市史編集委員会」を設け、協働委託により編さん事業を進めています。

② 新修宗像市史の執筆、編集に当たり、「新修宗像市史編集委員会」内に 7 部会を設け、必要な史資料の収集並びに調査研究を、市民やコミュニティ、大学等の研究機関と連携しながら編集作業を進めています。

(3) 「新修宗像市史編集委員会」の専門部会（7 部会）構成

「自然部会」、「原始・古代部会」、「中世部会」、「近世部会」、「近代部会」、「現代部会」、「民俗・美術・建築部会」の 7 部会より構成されています。

(4) 今後の刊行計画

令和元年度	社会・学校教育・まちづくり・都市計画編
令和 2 年度	いくさ・政治史編 交通史・対外交流編
令和 3 年度	社会史・生活史・産業史編 宗教・精神史編
令和 4 年度	年表、概要版